

京 都 府
 公益財団法人京都産業21
 株式会社コンディショニングラボ
 NPO 法人京都フォーライフ
 株式会社 Fujitaka

障がい者等の社会参画を支援する分身ロボットカフェ(実証)
 ～アバターロボットによる社会拡張プロジェクト～

- 京都府では、2019年のけいはんなロボット技術センターの開設をはじめ、スタートアップ企業等によるロボット開発を支援してきたところです。
- このたび、営業中のカフェにおいて、障がい者が自宅等に居ながら遠隔で接客や配膳等を行う実証を行い、ロボットの実用化と障がい者等の新しい働き方の創出を目指します。当日の取材についてよろしくお願いします。

1 実証内容

(1) 分身ロボット(通話型)により自宅想定地から遠隔で接客

日 時 令和4年12月26日(月)12時～
 場 所 コンディショニングラボカフェ(相楽郡精華町光台1-7 けいはんなプラザ交流棟1F)
 内 容 ・両下肢麻痺の方が分身ロボットの通話機能を活用し自宅想定地から接客

(2) 分身ロボット(移動型)を自宅想定地から遠隔操作して配膳

日 時 令和5年2月16日(木)11時～
 場 所 For the Life Café 宇治文化センター店(宇治市折居台八軒5-1)
 内 容 ・外出や対面コミュニケーションが難しい方が分身ロボットを遠隔操作して配膳
 ・卓上小型ロボットの語りかけ機能による店舗内の誘導やメニュー紹介

(3) 自律ロボットによる配膳・下膳等

日 時 令和4年12月16日(金)13時～
 場 所 Cafe&Dining HANA むこう(向日市寺戸町中野20 向日市役所5階)
 内 容 ・卓上小型ロボットの語りかけ機能によるメニュー紹介や系列店への誘客
 ・通話機能を用いた店舗内での遠隔注文
 ・扉開閉機能を有した自律ロボットによる配膳・下膳

2 実証で用いるロボット(詳細:次頁参照)

| | | | |
|-----------------|---|--|--|
| ロボット | 卓上型小型AIロボット ズック 「ZUKKU」  実証 (1)(2)(3) | 配膳・接客ロボット ケイガンアリ 「KeiganALI」  実証(2) | 自律移動型配膳・接客 ダブルスリー ロボット「W3」  実証(3) |
| 開発企業 (所在/創業) | 株式会社ハタプロ (京都市/2010年) | 株式会社 Keigan (精華町/2016年) | 株式会社 FUTURE (京都市/2018年) |

【本報道発表に関するお問合せ】

商工労働観光部ものづくり振興課 課長 足利 TEL 075-414-4846



(参考：実証で使用するロボット詳細)

1、卓上型小型 AI ロボット「^{ズック}ZUKKU」(向日市、精華町、宇治市での実験で使用)

- (概要) ・身長 10 cm のミニズク型ロボット
・対話機能を搭載し、AI による自然な会話も楽しめる。

- (開発企業) 株式会社ハタプロ (代表取締役 ^{いざわ りょうた}伊澤 諒太)
・2010 年に AI (人工知能) ロボットメーカーとして創業。
・ロボットの開発、ソフト・ハードウェア受託、近年は医工連携事業や NFT、Web3 の領域で官民共創の事業に携わる。



2、配膳・接客ロボット「^{ケイガンアリ}KeiganALI」(宇治市での実験で使用)

- (概要) ・自律移動ロボット (タブレットやスマートフォンでも操作可能)
・人と一緒に働くロボット、工場・物流・レストラン等の現場で活躍

- (開発企業) 株式会社 Keigan (代表取締役 ^{とくだ たかし}徳田 貴司)
・2016 年にモーターモジュールの開発のため創業。
・電気・通信機械器具の製造及び販売、ソフトウェアの作成
2022 年第 52 回機械工業デザイン賞 IDEA (日本商工会議所会頭賞) を受賞。



配膳・接客ロボット「KeiganALI」



3、自律移動型配膳・接客ロボット「^{ダブルスリー}W 3」(向日市での実験で使用)

- (概要) ・最適なルートで移動するための AI 機能などを搭載した配膳ロボット
・レストラン、ホテル、老人ホーム等の現場で活躍。

- (開発企業) 株式会社 FUTURE (代表取締役 ^{たにぐち けん}谷口 賢)
・ロボットの活用などによる快適な社会の実現を目指し、2018 年創業。
・主にロボット開発、ソフトウェア二次開発、API 連動受託事業に携わる。
用途に応じて、カスタマイズしたロボットを提供することが可能。



配膳ロボット「^{ダブルスリー}W 3」



下膳ロボット「^{ラッキー}LUCKI」